

## 私たちの働き方、一緒に考えましょう

長時間労働を解消し

すべての教職員が生き生きと健康に働ける学校を

『これが原因、わたしの長時間労働。これが原因、解決のために！』『緊急アンケートにご協力を！』

兵庫教組は6月3日に行われた第57回定期大会で、超過勤務の縮減に向けて、緊急アンケート「これが原因、わたしの長時間労働。これが原因、解決のために！」にとりくむことを確認しました。長時間労働の原因を解明し、県教委・地教委に私たちの声を届け、教職員が生き生きと働ける学校を共に創っていきましょう。

超過勤務縮減は進まず！  
小中学校ともに平均で月60時間超え！

県教委は、昨年度4年ぶりに「教職員の勤務実態調査」をし、その結果と平成25年度から行ってきた「勤務時間の適正化新対策プラン」のとりくみについてまとめ、新たに「教職員の勤務時間適正化推進プラン」を発表しました。

推進プランは、平日1日あたりの超過勤務時間は平成24年度との比較において「実質的な変化は見られなかった」と超過勤務縮減が全く進んでいないこと、平均で

1日あたり、小学校では3時間7分、中学校では3時間31分の実質超過勤務があることを報告しています。この数字は1ヶ月(4週20日)にすると、小中学校ともに60時間をはるかに超える数字になり、教職員の厳しい勤務実態が改めて明らかになりました。また、休日の超過勤務を含めると、報道で言われている通り、中学校では過労死ラインと言われる超過勤務80時間を超える異様な実態もわかりました。

平日の超過勤務の実態(1日あたり)

	小学校	中学校
残業時間	2 : 24	2 : 49
休憩時間内	0 : 14	0 : 20
持ち帰り	0 : 29	0 : 22
合計	3 : 07	3 : 31

休日の超過勤務の実態(1日あたり)

	小学校	中学校
職場	0 : 23	3 : 43
持ち帰り	0 : 28	0 : 32
合計	0 : 51	4 : 12

超過勤務の原因を明らかにして、実効ある勤務時間改善を！

今回の緊急アンケートは、長時間過密労働の原因は何か、また、その解決のためには何が必要なのかを明らかにすることを目的としています。

「ゆとりをもって子どもたちと接したい」  
「やりがいをもって人間らしく働きたい」  
「ゆつくりテレビを見たり読書をしたりしたい」  
「休みの日は映画に行ったり、ドライブをしたり、お出かけを楽しみたい」  
このような教職員として、人間として当たり前の願いが実現するように私たちの働き方を一緒に考えましょう。

すべての学校・職場で教職員が安心して生き生きと子どもたちの教育にとりくめることは、子どもたちにとつてはかけがえのない教育条件です。組合の所属の違いを超え、管理職も一緒に、働きやすい学校をつくることに力を合わせてとりくむことを心から呼びかけます。



# 超過勤務の解消の第1歩は、適正な勤務時間の把握から！

県教委は、記録簿について、今年度から出勤時間を入力すれば、それに伴い超過勤務時間が自動計算される様式に改めました。

「1ヶ月の超過勤務が自動計算されないこと」など不備があることも判明していますが、出勤時刻と退勤時刻を記録すれば、教職員の勤務時間把握が一定行えるようになっていきます。これまで問題になっていた「割振対象業務かどうか」に関係なく、すべての時間外勤務が記録されるようになりました。

県教委は昨年の確定交渉で「勤務時間管理は、地教委・管理職の責務」と明確に回答しました。自己申告という形になりますが、私たちの超勤実態を記録簿で明らかにし、それをもとに超過勤務を是正させるとりくみをすすめましょう。



4月		正規の勤務時間以外の勤務記録								退勤時刻	超過勤務時間	定時退勤日数
第1週	出勤時刻	勤務時間開始前		休憩時間		勤務時間終了後		割振対象時間合計				
月 日		従事時間	従事内容	従事時間	従事内容	従事時間	従事内容					
3月26日 (日)	0時00分	~		~		~		0時間 00分	0時00分	0時間00分		
勤務を要しない日												
3月27日 (月)	8時15分	~		~		~		0時間 00分	16時45分	0時間00分		
勤務を要する日												
3月28日 (火)	8時15分	~		~		17:00 ~ 18:45	⑬	0時間 00分	18時45分	1時間45分		
勤務を要する日												
3月29日 (水)	8時15分	~		~		~		0時間 00分	16時45分	0時間00分	☆	
勤務を要する日												
3月30日 (木)	8時15分	~		~		~		0時間 00分	16時45分	0時間00分		
勤務を要する日												
3月31日 (金)	7時45分	7:45 ~ 8:00	⑬	~		~		0時間 00分	16時45分	0時間15分		
勤務を要する日												
4月1日 (土)	8時00分	8:00 ~ 12:00	⑩	~		~		0時間 00分	12時00分	4時間00分		
勤務を要しない日												
								合計①	0時間 00分	超過勤務時間合計	6時間00分	
週間時間外勤務(①-②)		月間累計										
計	0時間 00分	0時間 00分										

## 新記録簿 Q&A

これまでに兵庫教組が県教委と確認してきた内容の抜粋です。

- Q1 管理職が昨年までの様式でもいいと言っていますが。  
A1 県教委は「地教委・管理職には新しい様式を使って職員の勤務時間把握を行うように」と言っています。  
Q2 管理職が「超過勤務が月80時間を超えるような場合は、書き直してほしい」と言いますが。  
A2 明らかに間違いです。県教委は実態通り記録するように言っています。  
Q3 休憩時間に従事した場合はどう書くのですか。  
A3 これも、実態通り書いてください。  
Q4 休日の部活動も記録していいのですか。  
A4 もちろん記録して下さい。  
Q5 ※マークや㊦マークをクリックできなかった時はどうするのですか。  
A5 時刻は後からいつでも手入力できます。  
Q6 出張で早く学校を出た場合はどう記録するのですか。  
A6 出張の翌日に出張業務の終了時刻を手入力してください。

記録簿のことで不明な点は最寄りの全教組合事務所、または直接兵庫教組書記局へおたずね下さい。  
**兵庫教職員組合 078-367-3602**